

助成受給団体名	ふりがな みやこしぼうはんきょうかいれんごうかい 宮古市防犯協会連合会
事業の名称	子どもの安全を確保し、犯罪被害を防止するための防犯活動推進
実施期間	平成25年8月1日～同25年12月15日
実施した事業の内容(200字以上500字以内に収めてください。)	<p>各地域の防犯協会員やボランティアがおこなっている通学路での子ども見守り活動、夜間の防犯パトロール活動の際に着用するコートを購入し、地域で活動する会員やボランティア等へ配布しました。</p> <p>当連合会では、東日本大震災以降、防犯活動用品の不足により希望者へ配布できずにいましたが、貸与を希望していた30地区の会員及び市内の仮設住宅にも配布し、子ども見守り活動や各種防犯活動、連合会でのイベントでも着用できるようになりました。また、のぼり旗『子ども安全パトロール』及び『地域で守ろう子どもの安全』を購入し、各地区の通学路や公園、市内の仮設住宅など、特に子どもの防犯効果を高めたい場所へ配布し、防犯協会員が設置管理をおこなっています。</p>
事業の成果(200字以上500字以内に収めてください。)	<p>東日本大震災の津波被害により、街灯が少なくなった住宅地や通学路、公園等に建設された仮設住宅も多いことから、子どもの安全確保及び犯罪被害防止の取り組みと、住民への防犯思想の啓発が課題となっていました。また、子どもの見守りや防犯パトロールをおこなう会員の活動を、地域住民に広く周知するとともに、防犯活動を安全に継続していくためにも、防犯コートの整備が課題となっていました。</p> <p>当該事業の実施により、子どもの見守り活動や防犯パトロールの際に会員が着用するコートを市内30地区において会員が着用できるよう整備することができました。また、地区の会員が主体となって、通学路や仮設住宅に働きかけてのぼり旗を設置したり、のぼり旗や防犯グッズを仮設住宅に持参して啓発をおこなうなど、地域の防犯活動にも大きな進展がありました。更に、子どもの見守り活動を前面に謳ったのぼり旗を通学路や仮設住宅に設置することで、子どもの犯罪被害防止や住民の防犯意識の向上にも効果が期待できます。</p>
今後の課題	<p>振り込め詐欺や特殊詐欺の被害防止、鍵かけの励行など、自主的な防犯意識を高めることができるよう、連合会が積極的に住民へ周知していくことが課題であると考えます。</p>

